

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔



各地で展示が行われ人気を集めた原画「僕等がいた」

©小畑友紀／小学館

□下□

「僕等がいた」ヒット

2002年から10年間にわたり月刊誌に掲載された「僕等がいた」は、05年に第50回小学館漫画賞（少女向け部門）を受

賞。釧路と東京を舞台に男女の成長の姿を描いた純愛ストーリーは、若い女性のハートをつかみ、コミック（1―16巻）は累計発行部数が1200万部を突破する大ベストセラーになった。10年にJR釧路駅で開かれた原画展を機に地

新ジャンルにも挑戦

元でも脚光を浴び、今年生田斗真さん、吉高由里子さんら豪華俳優陣による実写映画も公開、前後編合わせて330万人を動員して、釧路の名を全国に広め

京での生活を満喫して3年ほどで退職。次の道を模索する中「いつかは描いてみたかった」という漫画家への憧れが再燃し、実家の釧路へ戻って出版社に投稿す

載作家になりたかったのでもっと上手になりたいという気持ちが強かった」と、さらなる向上心で作品に取り組み、「スキ キラ イ好き。」「スマレはブルー」などを発表した。

た。

る日々が続いた。

生みの苦しみを味わったという「僕等がいた」の連載を終え「ほっとしている」と言いつつ、早くも新しい連載2作品がスタートしている。「別のジャンルにも挑戦したい」と、今後も釧路を拠点に創作活動に励む。

さらなる向上心で

幼いころから漫画を描くのが好きだった。小学校時代に漫画家を志したが、現実を知るにつれその熱意が薄れる時期も。大学を出て服飾関係の仕事に就き、東

なかなか芽が出ず焦った時期もあったが、1998年に「Raindrops」で念願のデビュー。ただ「連